

THE SHOIN TIMES

“Uganda Ambassador visited our school” - Saturday, May 25, 2019

駐日ウガンダ大使の Betty さんが来校 樟蔭の取り組みに感謝

5月17日、中学1年生を対象に「ウガンダプロジェクトに関する講演会」が行われました。講演会には、ウガンダ大使の Betty Grace Akech Okullo (ベティグレイスアケク)さんと、樟蔭の制補助バッグを製造している(株)スマイリーアース取締役社長の奥龍将さんが来校し、お話を聞かせて下さいました。お2人とも、プロジェクトや樟蔭中学校に迎えてくれたこと

に対する感謝の意を述べられ、Bettyさんからはウガンダの自然や動物に関すること、ウガンダと日本との関わりについて教えて頂きました。

また、講演会の冒頭に中学2年生の道盛鈴菜さんと宮崎李さんが、ウガンダプロジェクトの経緯などをクイズも交えながら、中学1年生に向けて分かりやすくプレゼンテーションしてくれました。



道盛さん

宮崎さん

女子寮の披露式で贈呈

ウガンダプロジェクトは、ウガンダ共和国の教育や生活の支援を目的に、国際交流の一環として取り組んでいるものです。昨年は中学校と高等学校の自治会執行部が中心となり、使っていない文房具13kgを集めて届けました。現在、現地の小学校で建設中の女子寮の披露式で贈呈される予定になっています。また、ウガンダ産のオーガニックコットン

を使用したトートバッグを制補助カバンとして採用しています。このトートバッグは泉州のタオル製造会社によって作ってもらっており、泉州のタオル産業の支援も兼ねています。

樟蔭では今年度から有志のボランティア団体(CSA)も発足しました。在校生の皆さんも、積極的に参加してみたいかがでしょう。

中2の道盛さんと宮崎さん

校長先生からプレゼンテーションしてほしいと言われ、引き受けたその後、「大変なことを引き受けた！私たちが大丈夫か？」と2人で心配になりました。4月の半ばから作りはじめたパワーポイントがようやく完成したとき、今まで感じたことのない達成感を味わうことができました。そして迎えた当日、ドクドクと打つ胸の音。

しーんと静まった室内、全員の視線が1点に集まったとき、私たちの発表は始まりました。

私たちはウガンダプロジェクトに直接関わった訳ではありません。でも、先輩方や先生方がやってきたこんな素晴らしい活動を後輩に伝えることができると嬉しく思います。このような機会をくださりありがとうございました。



学校法人 樟蔭学園

樟蔭中学校・高等学校